

令和6年度 まちの 決算 の状況

■歳入歳出決算額

○一般会計・特別会計の状況

令和6年度の一般会計及び2つの特別会計の決算総額は、歳入総額87億8,016万円に対し、歳出総額79億9,808万円で、歳入歳出差引額は7億8,208万円（翌年度への繰越財源を除いた実質収支は3億5,914万円）となっています。

また、前年度と比較して歳入総額は8億8,030万円（9.1%）の減、歳出総額は13億7,655万円（14.7%）の減となっています。

会 計 名	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一 般 会 計	72億 812万円	77億 9,404万円	70億 4,666万円	7億 4,738万円
特 別 会 計	8億 8,330万円	9億 8,612万円	9億 5,142万円	3,470万円
国民健康保険事業	7億 9,070万円	8億 8,912万円	8億 5,899万円	3,013万円
後期高齢者医療事業	9,260万円	9,700万円	9,243万円	457万円
合 計	80億 9,142万円	87億 8,016万円	79億 9,808万円	7億 8,208万円

○一般会計の歳入・歳出決算の内訳

歳入項目		令和6年度決算額 (構成比率)		歳出項目		令和6年度決算額 (構成比率)	
自主財源	町 税	5億 7,210万円	(7.3%)	義務的経費	人 件 費	10億 5,277万円	(14.9%)
	繰 入 金	9億 6,230万円	(12.4%)		公 債 費	9億 1,956万円	(13.0%)
	諸 収 入	1億 2,338万円	(1.6%)		扶 助 費	6億 1,997万円	(8.8%)
	分担金及び負担金	4,146万円	(0.5%)	投資的経費	普通建設事業費 (補 助)	2億 4,316万円	(3.5%)
	その他の自主財源	3億 5,384万円	(4.5%)		普通建設事業費 (単 独)	5億 6,490万円	(8.0%)
依存財源	地方交付税	41億 254万円	(52.6%)	災害復旧事業	1,277万円	(0.2%)	
	町 債	5億 9,897万円	(7.7%)	その他の経費	補 助 費 等	12億 5,544万円	(17.8%)
	国庫支出金	4億 7,307万円	(6.1%)		物 件 費	10億 2,688万円	(14.6%)
	県 支 出 金	2億 4,246万円	(3.1%)		繰 出 金	3億 7,783万円	(5.4%)
	地方譲与税	1億 4,617万円	(1.9%)		そ の 他 の 経 費	9億 7,338万円	(13.8%)
	その他の依存財源	1億 7,775万円	(2.3%)				
合 計	77億 9,404万円	(100.0%)	合 計	70億 4,666万円	(100.0%)		

○企業会計の状況

病院事業会計は総収益 12 億 2,189 万円に対し、総費用が 13 億 4,589 万円となり、損失 1 億 2,400 万円を計上しました。

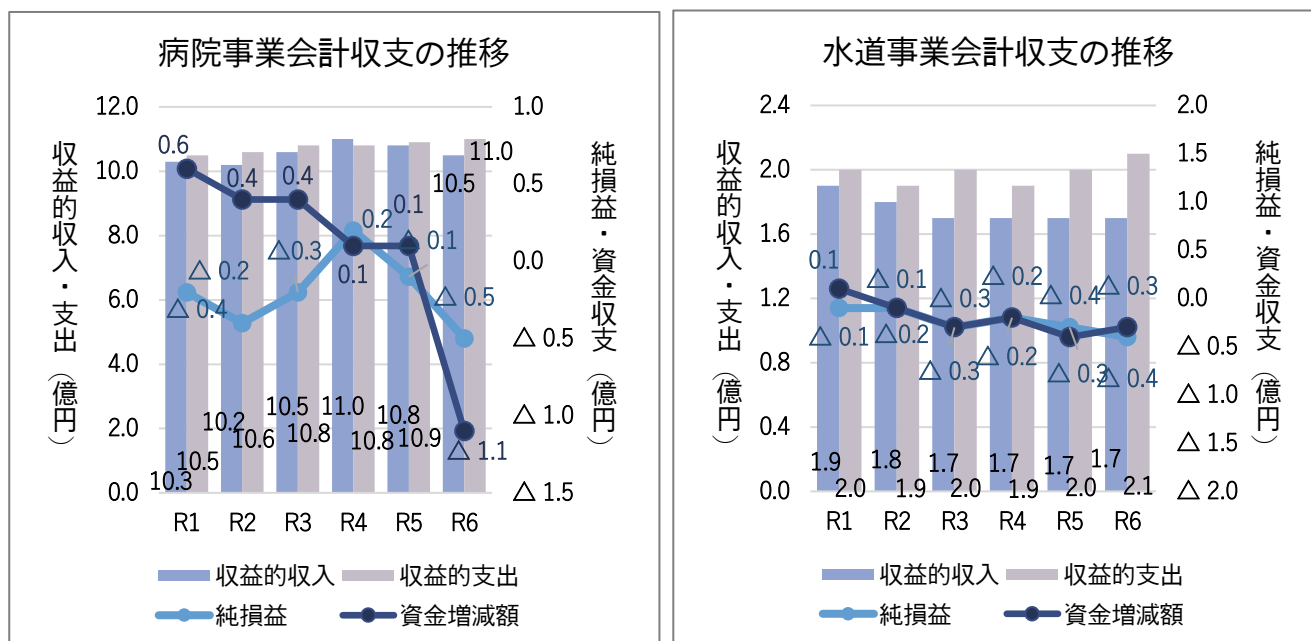
水道事業会計は総収益 4 億 1,925 万円に対し、総費用が 5 億 1,725 万円となり、損失 9,800 万円を計上しました。

下水道事業会計は総収益 3 億 7,706 万円に対し、総費用が 3 億 254 万円となり、利益 7,452 万円を計上しました。

(税込)

会計名		収入	支出	差引
病院事業会計	収益的	10 億 4,414 万円	11 億 323 万円	△5,909 万円
	資本的	1 億 7,775 万円	2 億 4,266 万円	△6,491 万円
水道事業会計	収益的	1 億 6,398 万円	2 億 440 万円	△4,042 万円
	資本的	2 億 5,527 万円	3 億 1,285 万円	△5,758 万円
下水道事業会計	収益的	1 億 5,693 万円	1 億 5,509 万円	184 万円
	資本的	2 億 2,013 万円	1 億 4,745 万円	7,268 万円

※ 収益的収支は、経営活動によって発生する収入と支出のことをいい、資本的収支は、建物や施設の建設などに係る収入と支出のことをいいます。



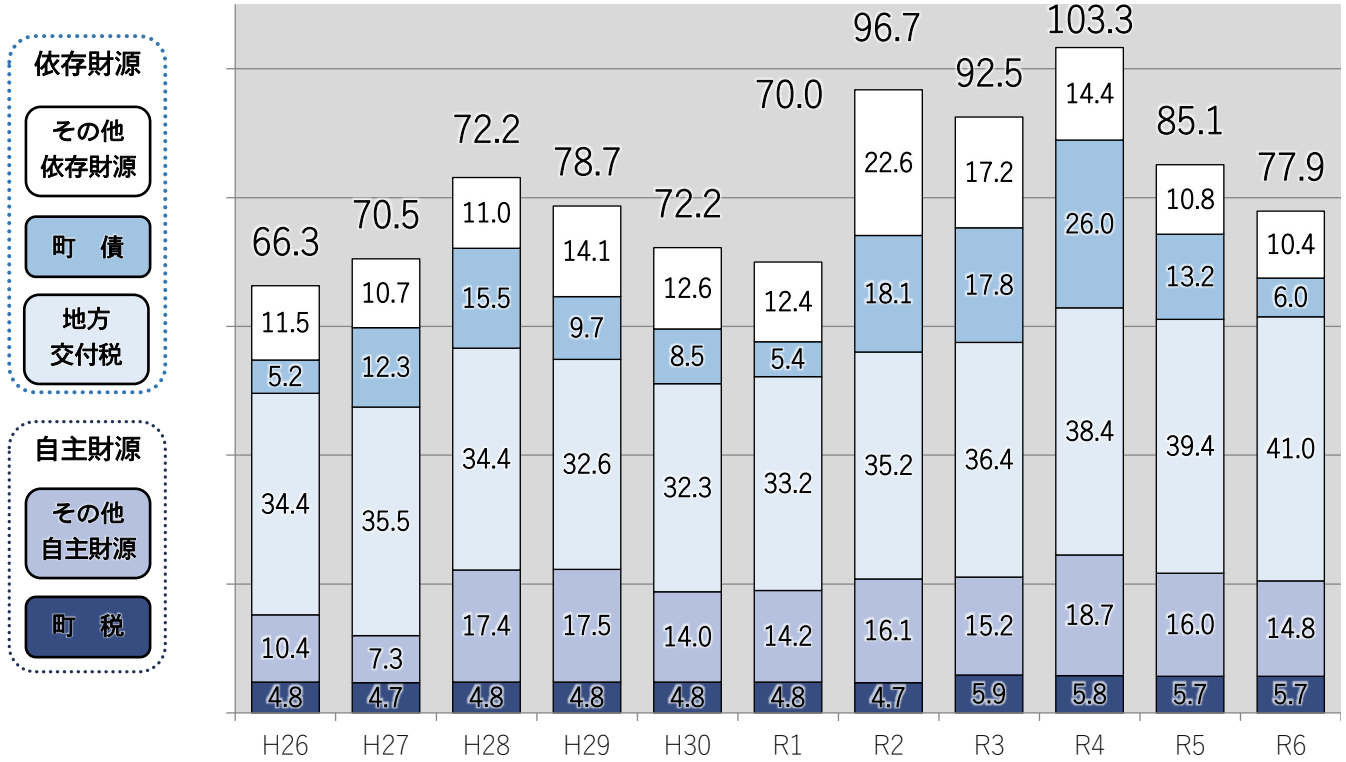
※ 下水道事業会計は令和 6 年度に企業会計へ移行したため、グラフは省略しています。

■一般会計歳入歳出決算額の推移

令和6年度の町の一般会計決算額は、歳入が77億9,404万円（前年度比7億1,620万円、8.4%減）、歳出が70億4,666万円（前年度比12億466万円、14.6%減）となり、歳入歳出差引額は7億4,738万円（前年度比4億8,846万円、188.7%増）の黒字となっています。

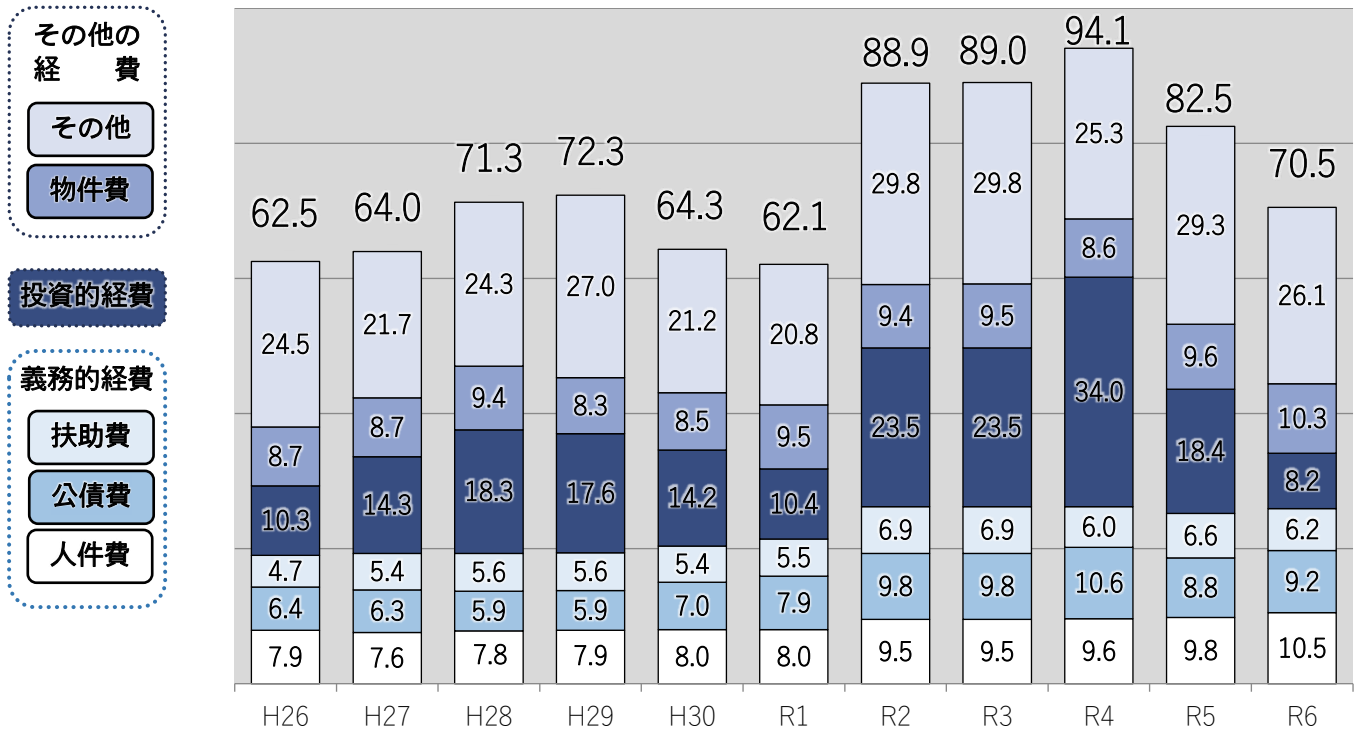
●歳入決算額の推移

（単位：億円）



●歳出決算額の推移

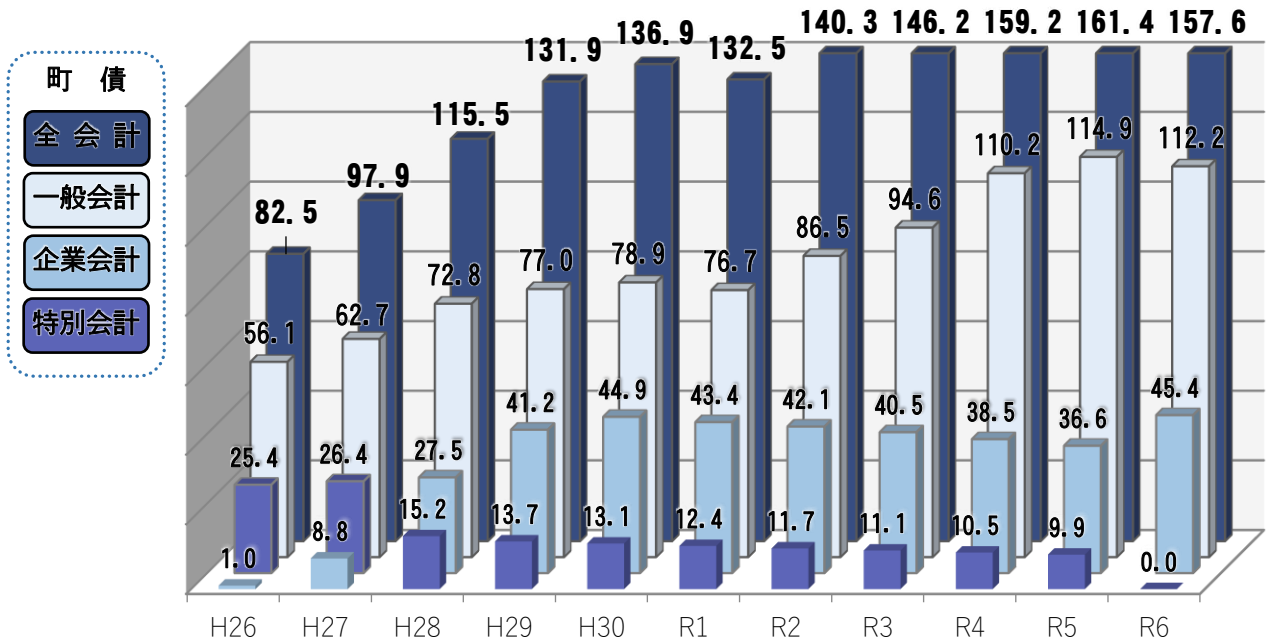
（単位：億円）



■町債現在高の推移

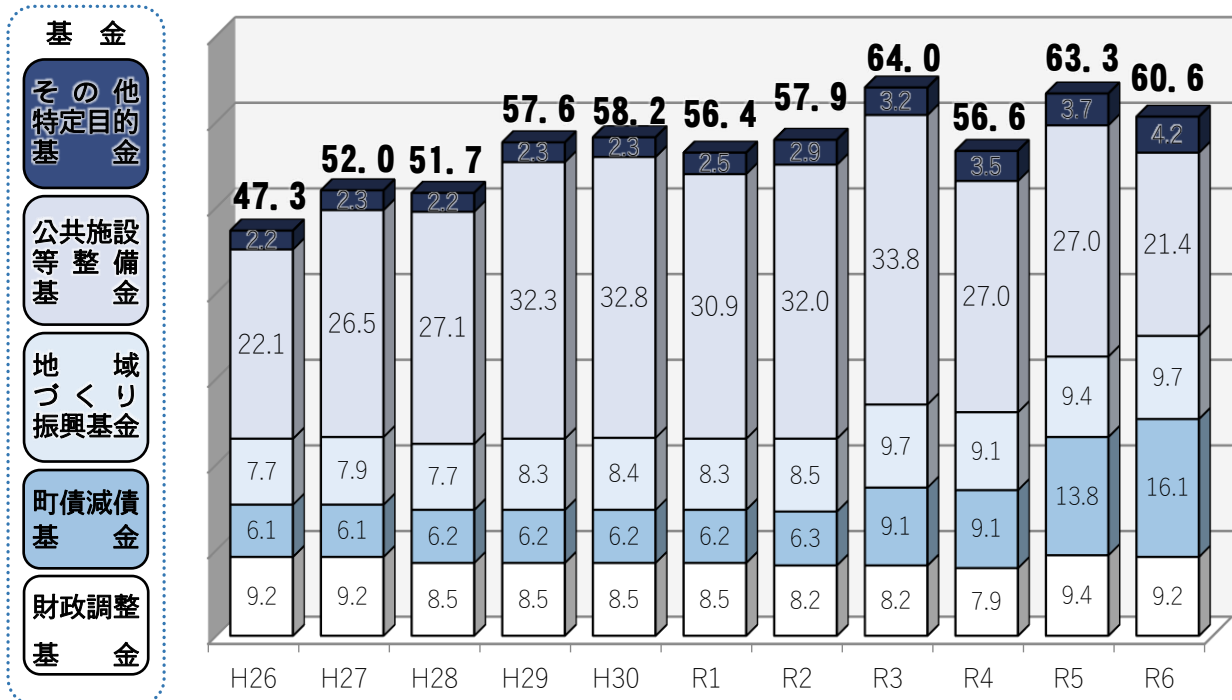
町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。令和6年度の一般会計の借入額は、庁舎等建設事業の工事進捗に伴い5億9,897万円（前年度比7億2,009万円、54.6%減）となり、令和6年度末の全会計の借入残高は、157億6,370万円（前年度比3億8,100万円、2.4%減）となっています。

一方で、将来にわたる安定的な財政運営を見据え、起債残高の縮小を図る取組みとして、1億1,679万円の繰上償還を行っています。（単位：億円）



■基金残高の推移

町の貯金である基金の令和6年度末の基金残高総額は60億6,035万円（前年度比2億6,681万円、4.2%減）となっています。積み立てた基金は、庁舎等建設のほか、今後見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。



■まちの財政の状況

●財政指標

項目	令和6年度 決算 A	令和5年度 決算 B	差引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	30.0 %
実質公債費比率	7.1 %	7.4 %	△0.3 pt	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	7.4 %	-	皆増	350.0 %	
財政力指数	0.17	0.18	△0.01		
経常収支比率	90.5 %	89.0 %	1.5 pt		

■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の令和6年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

■連結実質赤字比率

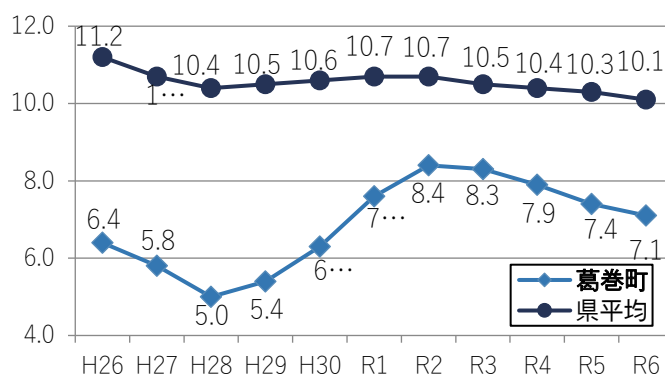
特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の令和6年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は25%ですが、18%を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

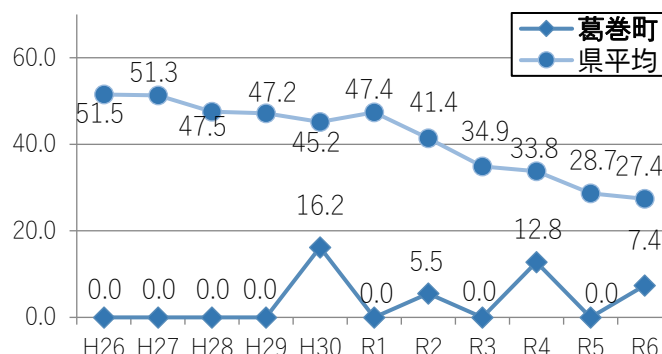
町の令和6年度における実質公債費比率は、7.1%で、前年度と比較して0.3ポイント改善しています。



■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公営企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の令和6年度における将来負担比率は、7.4%で、前年度から皆増となりました。



■財政力指数

財政力(※1)の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

町の令和6年度の財政力指数は0.17で、前年度から0.01減となりました。

※1 財政力 … 基準財政収入額(※2)の基準財政需要額(※3)に対する割合

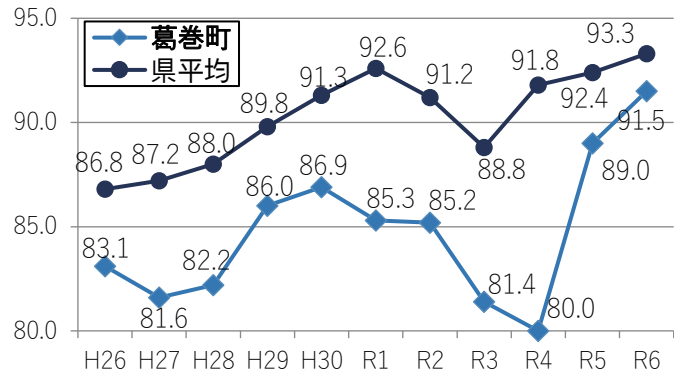
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるのであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

■経常収支比率

経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

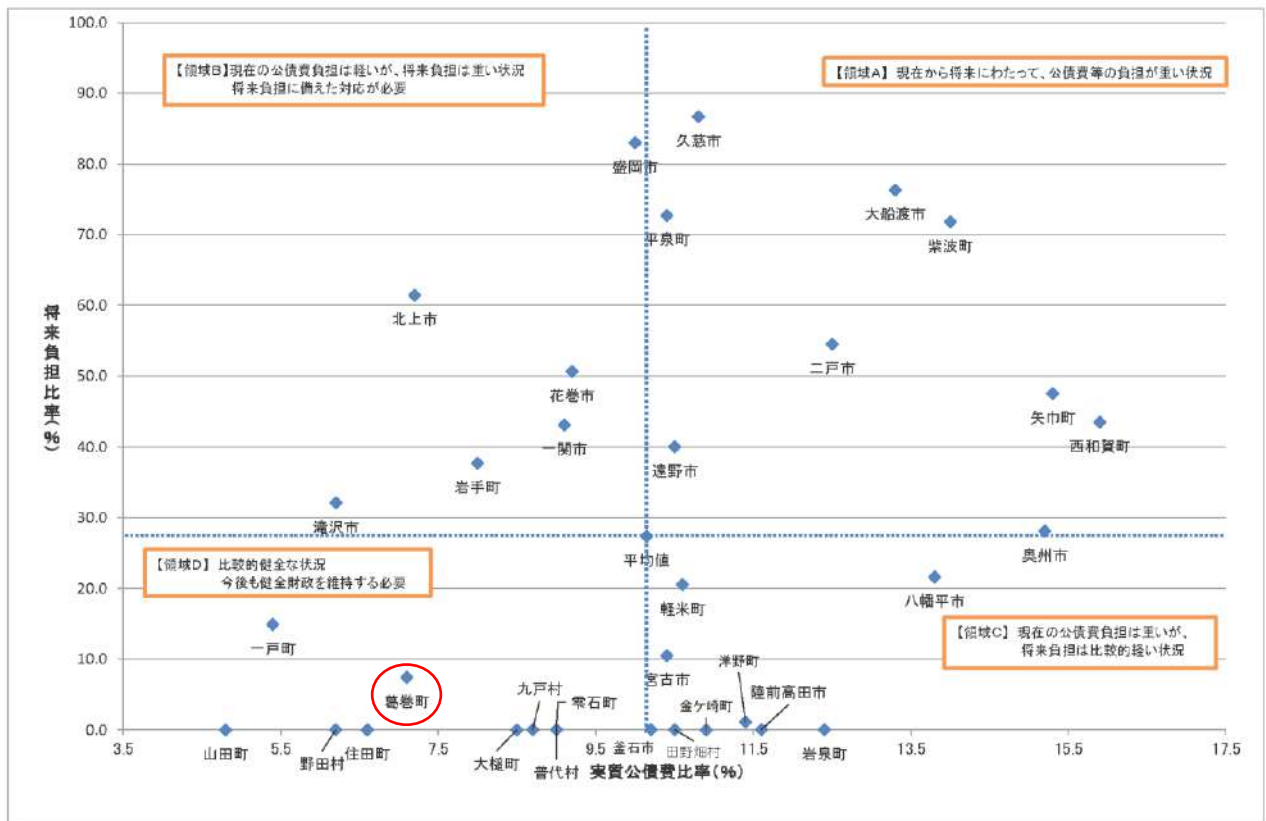
町の令和6年度の経常収支比率は、扶助費の増加等により、90.5%となり、前年度と比較して1.5ポイント増加しています。



●令和6年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、令和6年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



■一部事務組合及び第三セクターの状況（令和6年度）

●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

一部事務組合等名	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域消防組合	10,526	10,384	142	138
盛岡北部行政事務組合	7,949	7,551	398	398
岩手県市町村総合事務組合	9,530	8,047	1,483	1,483
岩手県後期高齢者医療広域連合	171,739	169,324	2,415	2,415
盛岡広域環境組合	238	188	50	15

（※財政状況資料集より）

形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支・・・形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

第三セクター等名	経常益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町の損失 補償債務 残高
（一社）葛巻町畜産開発公社	▲ 58	550	189	9	100
（株）岩手くずまきワイン	▲ 27	214	75	6	80
葛巻町森林組合	1	128	27	2	100
（株）グリーンテージくずまき	0	45	20	2	-

（※財政状況資料集より）

経常損益・・・営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額

損失補償・・・第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと